



# 「オペラ「ドン・カルロ」のスペイン史」

スペイン史著述家 西川和子氏

舞台は16世紀黄金期のスペイン、カルロ王子と婚約していたフランス王女が、父王フェリペ2世の王妃として来たのです。「息子」となったカルロですが、若く美しい母への恋心は募るばかりでした。

この宮廷の三角関係について俗っぽい恋愛小説が書かれ、18世紀、その小説が宮廷悲劇を探していたドイツの文豪シラーの目に留まり高尚な戯曲となり、さらに19世紀、イタリアの作曲家ヴェルディにより堂々たるオペラとなったのです。

オペラには、疑り深いフェリペ2世、悩める王子カルロと王妃、悪戯をするエボリ公女、今は亡きカール5世の墓も登場しますが、どうして王は息子の婚約者を奪ったのか、登場人物たちの本当の関係はどうだったのか、歴史と実像に迫ります。



## 2023年7月7日(金)



時間:14:00~16:00 (開場 13:30~)

場所:波止場会館1F 多目的ホール

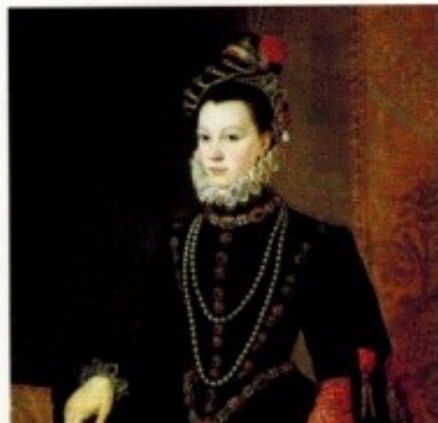
講演者:西川和子氏

参加費:1,500円

定員:28名

お申込み&お問合せ:spain\_salon@yokohama-spain.jp (服部)

横浜スペイン協会 スペイン・サロン



<プロフィール> 西川和子氏

早稲田大学理工学部卒。特許庁にて審査官、審判官、審判長を歴任。スペイン史著述家。著書に『スペイン フェリペ二世の生涯』『オペラ「ドン・カルロ」のスペイン史』『スペインレコンキスタ時代の王たち』『エル・グレコ祭壇画物語』(いずれも彩流社刊)『ハプスブルク事典』(丸善出版)の一部執筆、など多数。

絵は上から「フェリペ2世鎧(色補正)」、「イサベル・デ・ヴァロア」  
「ドン・カルロス」